

木津川市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)【概要版】

基本的事項の整理

【目的】

○本市域の温室効果ガスの排出をできる限り抑制し、2050(令和32)年温室効果ガス排出実質ゼロを達成できるように地球温暖化対策を進めるための計画です。

【計画の主体】

○本計画の対象となる主体は、本市の温室効果ガス排出にかかわるすべての市民、事業者、行政といったあらゆる主体とします。

【計画の期間及び目標年度】

- 計画期間 : 2023(令和5)年度～2030(令和12)年度の8年間
- 基準年度 : 2013(平成25)年度
- 目標年度 : 2030(令和12)年度
- 長期目標年度 : 2050(令和32)年度

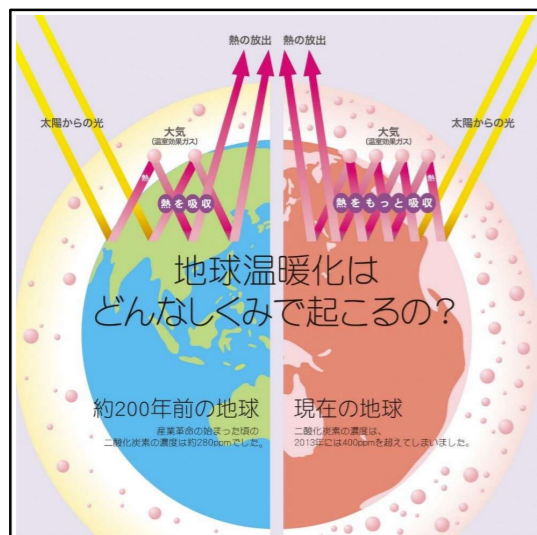
地球温暖化の概要

【地球温暖化のメカニズム】

地球温暖化とは、地球表面の気や海洋の平均温度が長期的に上昇する現象です。

近年、世界各地で発生している記録的な猛暑や干ばつ、熱波、集中豪雨、台風等といった異常気象の背景には、地球温暖化の影響が指摘されています。

温室効果ガスと地球温暖化メカニズム



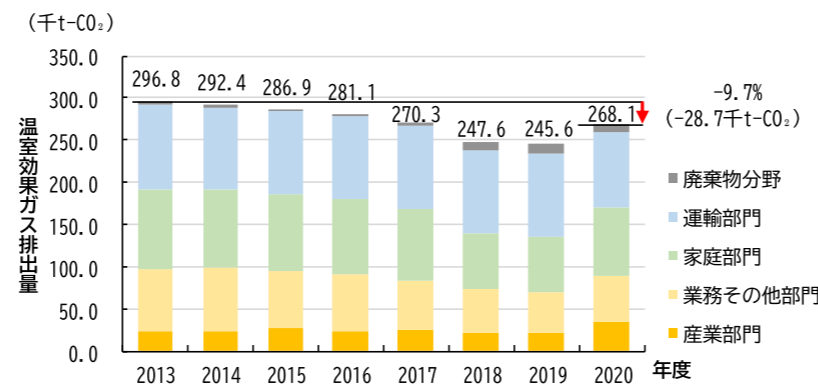
出典：全国地球温暖化防止活動センター(温室効果ガスインベントリオフィス)

木津川市の現状

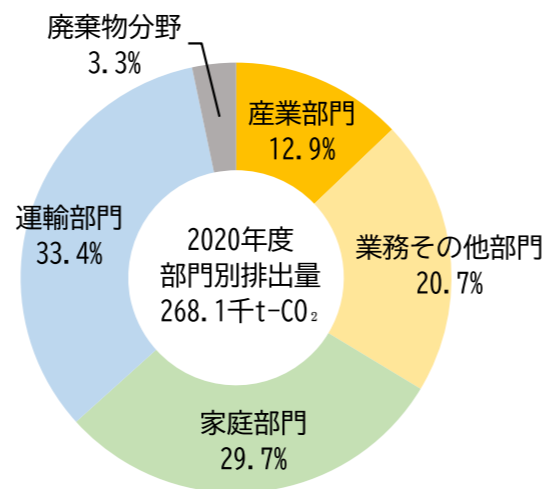
本市の2020(令和2)年度の温室効果ガス排出量は、268.1千t-CO₂であり、基準年度の2013(平成25)年度比で9.7%(28.7千t-CO₂)減少しています。

2020(令和2)年度における温室効果ガスの部門・分野別排出割合は、大きい順に「運輸部門」が33.4%、「家庭部門」が29.7%、「業務その他部門」が20.7%、「産業部門」が12.9%、「廃棄物分野」が3.3%となっています。

部門・分野別温室効果ガスの排出量の推移



温室効果ガスの部門・分野別排出割合(2020(令和2)年度)



温室効果ガス排出量の削減目標

本計画は、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを具体化するものであるとともに、市の環境未来像の達成に資する計画であることから、目標を以下のとおり設定します。

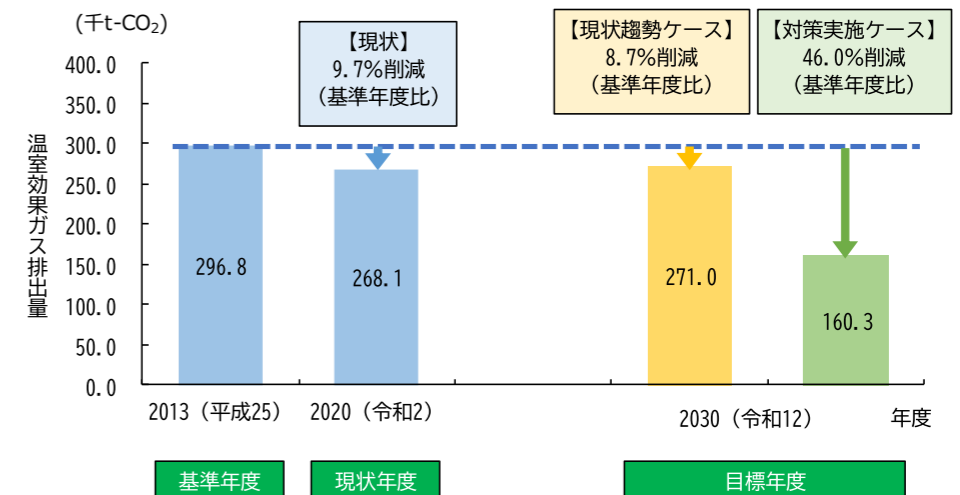
温室効果ガス排出量の削減目標

2030(令和12)年度に

2013(平成25)年度比で**46%削減**を目指します

2050(令和32)年度までに

ゼロカーボンシティの実現を目指します

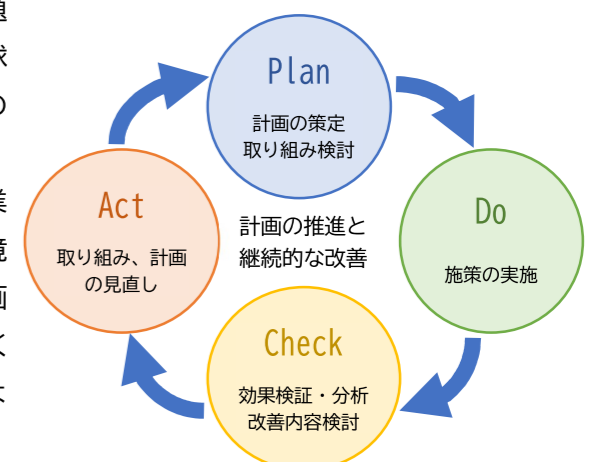


推進体制及び進行管理

毎年度、本市域の温室効果ガス排出量を把握するとともに、本計画の削減目標及び取り組み指標の進捗状況の把握と課題分析を行い、庁内に「(仮称)木津川市地球温暖化対策推進本部」を設置し、市内部の情報・認識の共有を進めます。

また、学識経験者、環境関係団体、事業者の代表などで構成される「木津川市環境審議会」に報告して、意見を求めます。計画の進行管理は、継続的な推進を図っていく必要があることから、PDCAサイクルによる進行管理を行います。




計画の進行管理(PDCAサイクル)



温室効果ガス削減に向けた取り組み(緩和策・適応策)

緩和策

適応策

	基本目標	基本施策	市	市民	事業者
緩和策	基本目標1 省エネルギー対策の推進 	1 省エネルギー建物・設備等の普及 2 日常生活・事業活動における省エネルギー行動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●環境配慮型建築物の普及促進 ●エネルギー消費量の見える化の促進 ●高効率機器等省エネルギー設備の普及促進 ●デコ活の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●ZEH など住宅の省エネルギー化に努めます。 ●断熱リフォームにより、住宅の断熱化に努めます。 ●ライフスタイルに合わせた省エネルギーに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ZEB など事業所の省エネルギー化に努めます。 ●緑のカーテンなどの壁面緑化に努めます。 ●環境マネジメントシステムの導入を検討します。
	基本目標2 再生可能エネルギーの利用促進 	1 再生可能エネルギーの導入促進 2 再生可能エネルギーの利活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギーの導入促進 ●自立・分散型エネルギー社会の形成に向けた仕組みづくり ●再生可能エネルギーの利活用の基盤づくり ●再生可能エネルギーの利活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光発電システムなどの再生可能エネルギーの導入に努めます。 ●再生可能エネルギーによる発電割合が高く、温室効果ガス排出量の少ない電力の選択に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光発電システムなどの再生可能エネルギーの導入や活用に努めます。 ●再生可能エネルギー由来の電力の選択に努めます。 ●工場からの排熱を利用した発電を検討します。
	基本目標3 脱炭素社会を実現する環境の整備 	1 公共交通機関や自転車の利用促進 2 自動車利用時の CO ₂ 排出量の低減 3 森林の保全・活用 4 農業の環境負荷軽減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●モビリティ・マネジメントの推進 ●コミュニティバスの利用促進 ●電気自動車などの次世代自動車の普及促進 ●エコドライブの促進 ●森林保全の促進 ●府内産木材の活用促進 ●食品等の地産地消の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●電車、バス等の公共交通機関を利用します。 ●車の買い替え時には、次世代自動車等の購入を検討します。 ●森林ボランティア活動への参加・支援に努めます。 ●地域で生産された食材を購入するように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電車、バス等の公共交通機関の利用を推進します。 ●車の買い替え時には、次世代自動車等の購入を検討します。 ●事業所の新築・増改築の際には、府内産木材の利用を検討します。
	基本目標4 循環型のくらしの推進 	1 ごみの減量化・資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●2R(リデュース、リユース)の推進 ●可燃ごみの減量対策 ●プラスチックごみの削減 ●環境配慮型商品の購入促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●食事を残さないことや食べきれる量の買い物をするなど、食品ロス削減に努めます。 ●再生品、再生利用可能な商品、詰め替え商品、繰り返し使用できる商品の選択に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業活動を通じて発生する食品ロスの削減に努めます。 ●再生品の適切な表示や情報提供を行い、再生品・エコマーク商品等の販売促進に努めます。
	基本目標5 多様な主体との連携の推進 	1 環境意識の啓発 2 他自治体・企業等との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●環境学習向けプログラムの作成 ●J-クレジット制度の活用を検討 ●他自治体との広域連携による再エネ開発及び融通の仕組みづくりの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境学習やイベント等、環境問題を学べる場に積極的に参加します。 ●日常生活の中で、環境に配慮した行動や製品・サービスの選択等、自分ができる行動を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●業務の中で、環境に配慮した行動や製品・サービスの選択等、事業者ができる行動を実践します。 ●市内の環境団体やその参加団体が開催するイベント等を支援し、環境学習の場の創出に努めます。
気候変動に対する適応策 (木津川市気候変動適応計画) 		<ul style="list-style-type: none"> ●最新の科学的な知見等の情報把握に努めます。 ●熱中症被害を防止するため、予防法と対処法についての情報提供や啓発を行います。 ●災害時における上下水道の応急復旧体制の強化を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハザードマップなどを活用し、災害発生時の行動を確認します。 ●暑い日には室内・屋外を問わず、こまめに水分・塩分を補給するなど、熱中症対策を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●気候変動が事業活動に与える影響を把握し、企業としての「適応策」を検討します。 ●熱中症警戒アラートの活用など、熱中症について情報収集を行い、事業活動中の熱中症対策を実施します。 	